

LIVE SDD 2013におけるグランドパフォーマンス

全国6地区から、6名の最優秀賞受賞者が、LIVE SDD 2013のステージに立ち、作品発表とグランドパフォーマンスに臨みました。子どもたちは、緊張の様子が見られたものの、晴れの舞台を楽しもうと意思統一、ひとりひとりが想いを抱いてステージへ向かいました。1万人以上の来場者で埋まった大阪城ホールの、異様なまでの熱気に戸惑いながらも、書家・森大衛氏や有名ミュージシャンらと共演し、“飲酒運転をなくしてほしい！”という想いを発信しました。「小さなアーティスト」らは、共演した有名ミュージシャンからの賞賛と拍手を浴び、この偉業に胸を張りました。この偉業は、LIVE SDD 2013の、感動のフィナーレに花を添えました。



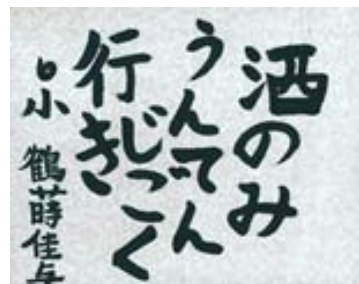
[子どもたちのコメント]

(1)北海道ブロック



奥津 優歩さん
法律を作った大人が、さらに大切な命を奪っていくことはみっともないと思って書きました。最優秀賞に選ばれると思っていなかったの、すごい嬉しいです。ありがとうございます。

(2)東北ブロック



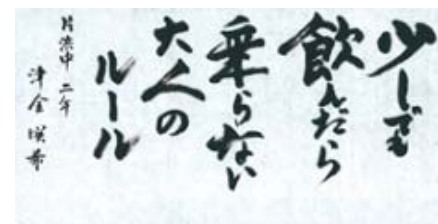
鶴蒔 佳与さん
酒のみ運転をしても、何もないことがないので、「じごく行き」という言葉を使いました。ひとつひとつの大きさが、バラバラにならないように気を付けて書きました。私たちがこうして、メッセージを書くことで飲酒運転がなくなるのなら、何回でも書きたいと思います。

(3)関東・甲信越ブロック



ジェンキンス 沙南さん
紙いっぱい、力強く書こうと思いました。最後の「元」という字、力強く払うことで、絶対に飲酒運転をしないように、守ってほしくて書きました。この言葉が、飲酒運転根絶につながると良いと思います。

(4)中部・北陸ブロック



津金 咲希さん
飲酒運転の事故は、被害者のご家族も崩壊させてしまいます。こういう事故は

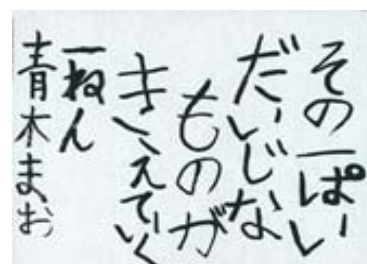
私の周りでも有り得ることです。私がこのコンクールに作品を出すことで、大切な人たちに、少しでもつらい想いをさせないようにできるのではないかと思って書きました。

(5)近畿・中・四国ブロック



土田 菜央さん
いつも家族で外食に行ったとき、お父さんがこの言葉を言われるのを聞いているので、これを書道に表しました。ひとりひとりが大人と子ども関係なく、飲酒運転のことについて考えて、飲酒運転がなくなったらいいなと思います。

(6)九州・沖縄ブロック

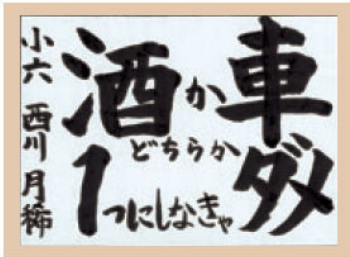


青木 舞桜さん
お父さんが帰って来なくなるかと思うと、さみしくてたまりません。お母さんはお酒を飲んだ車にぶつけられたことがあり、もしお母さんがそのとき死んでいたら、私はいま

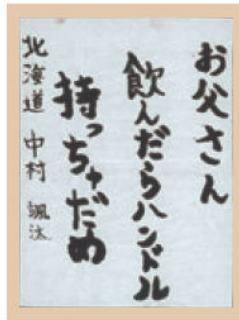
せん。お酒を飲んで運転しなければ、幸せな毎日が無くならないと思います。心から、お酒を飲んで運転してほしくないです。

各地区の優秀作品

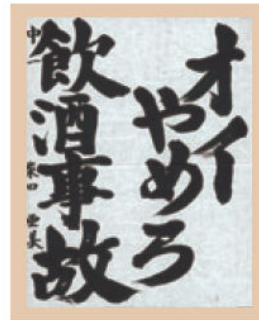
(北海道地区)



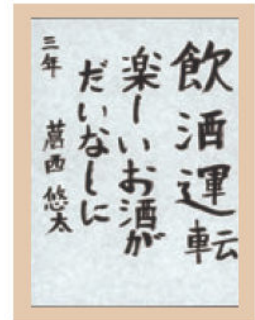
西川 月稀さん



中村 颯汰さん

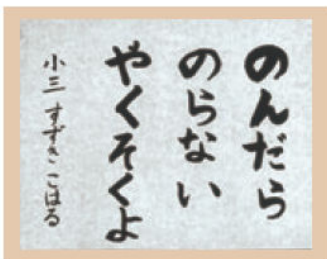


柴田 亜美さん



葛西 悠太さん

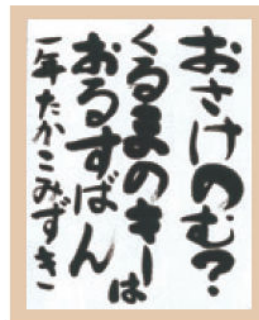
(東北地区)



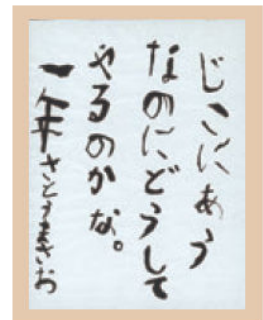
鈴木 小春さん



酒井 渚沙さん



高子 水姫さん

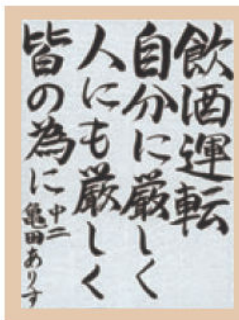


佐藤 大夫さん

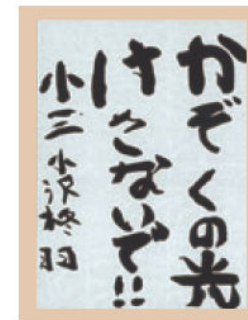
(関東・甲信越地区)



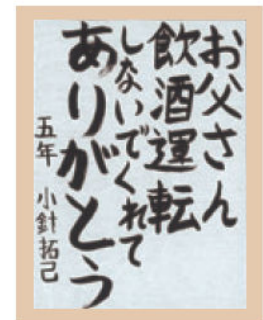
伊藤 瑞恵さん



亀田 ありすさん

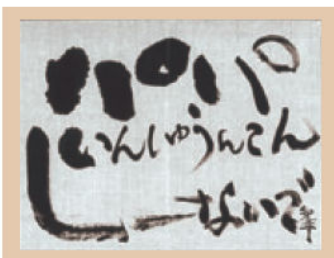


小沢 柊羽さん

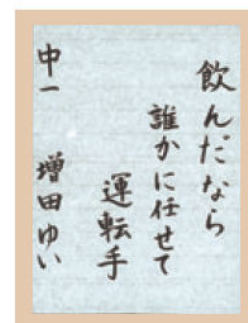


小針 拓己さん

(中部・北陸地区)



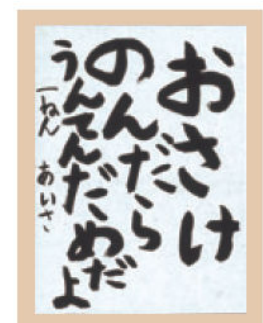
藤村 愛幸さん



増田 ゆいさん



山本 ひかりさん

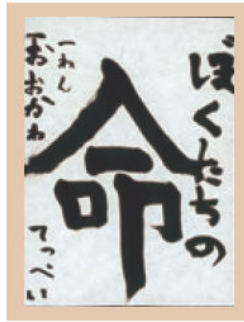


山内 愛彩さん

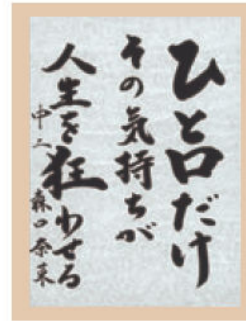
(近畿・中・四国地区)



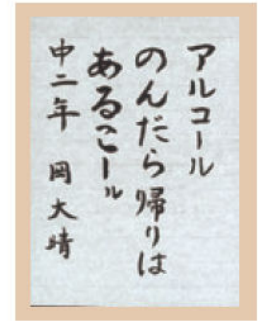
栗山 晃一さん



大川 哲平さん

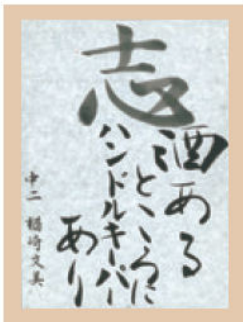


森口 奈菜さん

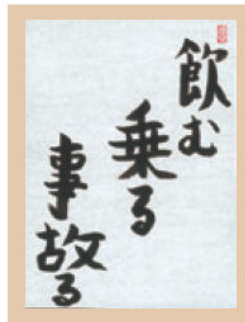


岡 大晴さん

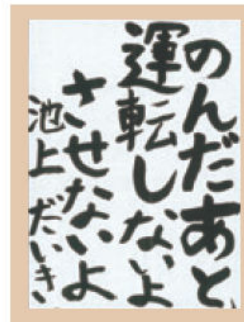
(九州・沖縄地区)



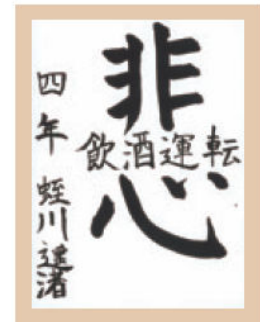
榎崎 文美さん



富川 流雪さん



池上 大樹さん



蛭川 遥渚さん

※すべての書道作品の著作権は、ジェイ・ディ共済に帰属します。他の印刷物への作品の無断転載を禁止します。